

ビジネス実務法務検定試験3級 - 企業組織・会社法

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q001 BL3-010

企業組織・会社法 / 株主総会 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
株主総会は、株式会社では存在してはならない機関である。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：役員選任など重要事項を決議する。

要点：株主総会

Q002 BL3-024

企業組織・会社法 / 取締役 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
取締役は、会社法上どの会社にも絶対に不要である。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：会社形態に応じて機関設計が異なる。

要点：取締役

Q003 BL3-038

企業組織・会社法 / 代表取締役 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
代表取締役は、会社を代表する権限を一切持たない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：代表権の範囲や制限が問題となる。

要点：代表取締役

Q004 BL3-052

企業組織・会社法 / 取締役会 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
取締役会設置会社でも、取締役会は一切決定権を持たない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：重要な業務執行の決定などを行う。

要点：取締役会

Q005 BL3-065

企業組織・会社法 / 株式会社 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
株式会社は、株式を発行して資金を集める会社形態である。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい

超簡単な解説：株主・取締役などの機関が問題となる。

要点：株式会社

ビジネス実務法務検定試験3級 - 企業組織・会社法

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q006 BL3-066

企業組織・会社法 / 監査役 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
監査役は、会社の営業担当者を意味する。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：会計監査・業務監査の範囲は会社形態で異なる。

要点：監査役

Q007 BL3-079

企業組織・会社法 / 株主有限責任 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
株主は、原則として出資額を限度に責任を負う。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい

超簡単な解説：株式会社の基本原則である。

要点：株主有限責任

Q008 BL3-080

企業組織・会社法 / 商号 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
商号は、個人名以外には法律上認められない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：会社名などの表示に関係する。

要点：商号

Q009 BL3-093

企業組織・会社法 / 定款 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
定款は、会社の基本規則を定めるものである。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい

超簡単な解説：商号・目的・本店所在地などを定める。

要点：定款

Q010 BL3-107

企業組織・会社法 / 株主総会 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
株主総会は、株式会社の基本的事項を決定する機関である。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい

超簡単な解説：役員選任など重要事項を決議する。

要点：株主総会

ビジネス実務法務検定試験3級 - 企業組織・会社法

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q011 BL3-121

企業組織・会社法 / 取締役 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
取締役は、会社の業務執行や意思決定に関与する役員である。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：会社形態に応じて機関設計が異なる。
要点：取締役

Q012 BL3-135

企業組織・会社法 / 代表取締役 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
代表取締役は、会社を代表して対外的行為を行う。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：代表権の範囲や制限が問題となる。
要点：代表取締役

Q013 BL3-149

企業組織・会社法 / 取締役会 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
取締役会設置会社では、取締役会が業務執行の決定等を行う。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：重要な業務執行の決定などを行う。
要点：取締役会

Q014 BL3-162

企業組織・会社法 / 株式会社 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
株式会社では、株式を発行することが法律上禁止されている。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り
超簡単な解説：株主・取締役などの機関が問題となる。
要点：株式会社

Q015 BL3-163

企業組織・会社法 / 監査役 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
監査役は、取締役の職務執行を監査する機関である。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：会計監査・業務監査の範囲は会社形態で異なる。
要点：監査役

ビジネス実務法務検定試験3級 - 企業組織・会社法

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q016 BL3-180

企業組織・会社法 / 取締役会 / 形式：2択

次のうち、「取締役会」について正しい説明はどちらか。

1. 権利者であれば、どのような目的でも権利行使は常に認められる。
2. 取締役会設置会社では、取締役会が業務執行の決定等を行う。

答え・解説

正答：取締役会設置会社では、取締役会が業務執行の決定等を行う。
超簡単な解説：重要な業務執行の決定などを行う。

要点：取締役会

Q017 BL3-193

企業組織・会社法 / 株式会社 / 形式：2択

次のうち、「株式会社」について正しい説明はどちらか。

1. 株式会社は、株式を発行して資金を集める会社形態である。
2. 法人は実体がないため、契約の当事者になることはできない。

答え・解説

正答：株式会社は、株式を発行して資金を集める会社形態である。
超簡単な解説：株主・取締役などの機関が問題となる。

要点：株式会社

Q018 BL3-194

企業組織・会社法 / 監査役 / 形式：2択

次のうち、「監査役」について正しい説明はどちらか。

1. 株式会社では、株式を発行することが法律上禁止されている。
2. 監査役は、取締役の職務執行を監査する機関である。

答え・解説

正答：監査役は、取締役の職務執行を監査する機関である。
超簡単な解説：会計監査・業務監査の範囲は会社形態で異なる。

要点：監査役

Q019 BL3-207

企業組織・会社法 / 株主有限責任 / 形式：2択

次のうち、「株主有限責任」について正しい説明はどちらか。

1. 株主は、原則として出資額を限度に責任を負う。
2. 取締役は、会社法上どの会社にも絶対に不要である。

答え・解説

正答：株主は、原則として出資額を限度に責任を負う。
超簡単な解説：株式会社の基本原則である。

要点：株主有限責任

Q020 BL3-208

企業組織・会社法 / 商号 / 形式：2択

次のうち、「商号」について正しい説明はどちらか。

1. 商標権は、発明そのものを保護する権利である。
2. 商号は、商人が営業上自己を表示する名称である。

答え・解説

正答：商号は、商人が営業上自己を表示する名称である。
超簡単な解説：会社名などの表示に関係する。

要点：商号

ビジネス実務法務検定試験3級 - 企業組織・会社法

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q021 BL3-221

企業組織・会社法 / 定款 / 形式：2択

次のうち、「定款」について正しい説明はどちらか。

1. 定款は、会社の基本規則を定めるものである。
2. 労働契約では、使用者に賃金支払義務はない。

答え・解説

正答：定款は、会社の基本規則を定めるものである。

超簡単な解説：商号・目的・本店所在地などを定める。

要点：定款

Q022 BL3-235

企業組織・会社法 / 株主総会 / 形式：2択

次のうち、「株主総会」について正しい説明はどちらか。

1. 株主総会は、株式会社の基本的事項を決定する機関である。
2. 仮差押えは、債権回収とは一切関係しない。

答え・解説

正答：株主総会は、株式会社の基本的事項を決定する機関である。

超簡単な解説：役員選任など重要事項を決議する。

要点：株主総会

Q023 BL3-249

企業組織・会社法 / 取締役 / 形式：2択

次のうち、「取締役」について正しい説明はどちらか。

1. 取締役は、会社の業務執行や意思決定に関与する役員である。
2. 売買契約では、買主に代金支払義務は発生しない。

答え・解説

正答：取締役は、会社の業務執行や意思決定に関与する役員である。

超簡単な解説：会社形態に応じて機関設計が異なる。

要点：取締役

Q024 BL3-263

企業組織・会社法 / 代表取締役 / 形式：2択

次のうち、「代表取締役」について正しい説明はどちらか。

1. 代表取締役は、会社を代表して対外的行為を行う。
2. 独占禁止法は、すべての競争を禁止する法律である。

答え・解説

正答：代表取締役は、会社を代表して対外的行為を行う。

超簡単な解説：代表権の範囲や制限が問題となる。

要点：代表取締役

Q025 BL3-277

企業組織・会社法 / 取締役会 / 形式：2択

次のうち、「取締役会」について正しい説明はどちらか。

1. 取締役会設置会社では、取締役会が業務執行の決定等を行う。
2. 景品表示法は、企業の広告表示とは一切関係がない。

答え・解説

正答：取締役会設置会社では、取締役会が業務執行の決定等を行う。

超簡単な解説：重要な業務執行の決定などを行う。

要点：取締役会

ビジネス実務法務検定試験3級 - 企業組織・会社法

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q026 BL3-290

企業組織・会社法 / 株式会社 / 形式：2択

次のうち、「株式会社」について正しい説明はどちらか。

1. 労働組合は、使用者だけで構成される団体である。
2. 株式会社は、株式を発行して資金を集める会社形態である。

答え・解説

正答：株式会社は、株式を発行して資金を集める会社形態である。

超簡単な解説：株主・取締役などの機関が問題となる。

要点：株式会社

Q027 BL3-291

企業組織・会社法 / 監査役 / 形式：2択

次のうち、「監査役」について正しい説明はどちらか。

1. 監査役は、取締役の職務執行を監査する機関である。
2. 株式会社では、株式を発行することが法律上禁止されている。

答え・解説

正答：監査役は、取締役の職務執行を監査する機関である。

超簡単な解説：会計監査・業務監査の範囲は会社形態で異なる。

要点：監査役

Q028 BL3-304

企業組織・会社法 / 株主有限責任 / 形式：2択

次のうち、「株主有限責任」について正しい説明はどちらか。

1. 未成年者がした契約は、どのような場合も取り消すことができない。
2. 株主は、原則として出資額を限度に責任を負う。

答え・解説

正答：株主は、原則として出資額を限度に責任を負う。

超簡単な解説：株式会社の基本原則である。

要点：株主有限責任

Q029 BL3-305

企業組織・会社法 / 商号 / 形式：2択

次のうち、「商号」について正しい説明はどちらか。

1. 商号は、商人が営業上自己を表示する名称である。
2. 取締役会設置会社でも、取締役会は一切決定権を持たない。

答え・解説

正答：商号は、商人が営業上自己を表示する名称である。

超簡単な解説：会社名などの表示に係る。

要点：商号

Q030 BL3-318

企業組織・会社法 / 定款 / 形式：2択

次のうち、「定款」について正しい説明はどちらか。

1. 労働契約では、使用者に賃金支払義務はない。
2. 定款は、会社の基本規則を定めるものである。

答え・解説

正答：定款は、会社の基本規則を定めるものである。

超簡単な解説：商号・目的・本店所在地などを定める。

要点：定款

ビジネス実務法務検定試験3級 - 企業組織・会社法

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q031 BL3-332

企業組織・会社法 / 株主総会 / 形式：2択

次のうち、「株主総会」について正しい説明はどちらか。

1. 景品表示法は、企業の広告表示とは一切関係がない。
2. 株主総会は、株式会社の基本的事項を決定する機関である。

答え・解説

正答：株主総会は、株式会社の基本的事項を決定する機関である。
超簡単な解説：役員選任など重要事項を決議する。

要点：株主総会

Q032 BL3-344

企業組織・会社法 / 株主有限責任 / 形式：4択

次のうち、「株主有限責任」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 株主は、原則として出資額を限度に責任を負う。
2. 法律行為は、事実行為だけで成立し意思表示を必要としない。
3. 不正競争防止法は、企業活動とは無関係の刑法だけを定める。
4. 下請法は、消費者の家族関係だけを定める法律である。

答え・解説

正答：株主は、原則として出資額を限度に責任を負う。
超簡単な解説：株式会社の基本原則である。

要点：株主有限責任

Q033 BL3-345

企業組織・会社法 / 商号 / 形式：4択

次のうち、「商号」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 景品表示法は、企業の広告表示とは一切関係がない。
2. 代表取締役は、会社を代表する権限を一切持たない。
3. 詐欺による契約でも、被害者は常に取り消せない。
4. 商号は、商人が営業上自己を表示する名称である。

答え・解説

正答：商号は、商人が営業上自己を表示する名称である。
超簡単な解説：会社名などの表示に係る。

要点：商号

Q034 BL3-358

企業組織・会社法 / 定款 / 形式：4択

次のうち、「定款」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 内容証明郵便を送れば、裁判をしなくても必ず強制執行できる。
2. 権利者であれば、どのような目的でも権利行使は常に認められる。
3. 定款は、会社の基本規則を定めるものである。
4. 契約不適合があっても、買主は常に一切の救済を受けられない。

答え・解説

正答：定款は、会社の基本規則を定めるものである。
超簡単な解説：商号・目的・本店所在地などを定める。

要点：定款

Q035 BL3-372

企業組織・会社法 / 株主総会 / 形式：4択

次のうち、「株主総会」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 法律上の善意は、道徳的に親切であることをいう。
2. 株主総会は、株式会社の基本的事項を決定する機関である。
3. ADRは、裁判所の判決だけを意味する。
4. クーリング・オフは、すべての売買契約に無期限で認められる。

答え・解説

正答：株主総会は、株式会社の基本的事項を決定する機関である。
超簡単な解説：役員選任など重要事項を決議する。

要点：株主総会

ビジネス実務法務検定試験3級 - 企業組織・会社法

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q036 BL3-386

企業組織・会社法 / 取締役 / 形式：4択

次のうち、「取締役」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 連帯保証人は、催告の抗弁権と検索の抗弁権を常に行使できる。
2. 取締役は、会社の業務執行や意思決定に関与する役員である。
3. 権利者であれば、どのような目的でも権利行使は常に認められる。
4. ADRは、裁判所の判決だけを意味する。

答え・解説

正答：取締役は、会社の業務執行や意思決定に関与する役員である。
超簡単な解説：会社形態に応じて機関設計が異なる。
要点：取締役

Q037 BL3-400

企業組織・会社法 / 代表取締役 / 形式：4択

次のうち、「代表取締役」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 不正競争防止法は、企業活動とは無関係の刑法だけを定める。
2. 代表取締役は、会社を代表して対外的行為を行う。
3. 代理人が契約すると、効果は常に代理人本人にだけ帰属する。
4. 双務契約では、相手が履行しなくても常に先に履行しなければならない。

答え・解説

正答：代表取締役は、会社を代表して対外的行為を行う。
超簡単な解説：代表権の範囲や制限が問題となる。
要点：代表取締役

Q038 BL3-414

企業組織・会社法 / 取締役会 / 形式：4択

次のうち、「取締役会」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 動産の所有権移転では、引渡しはどの場面でも無意味である。
2. 強迫による意思表示は、被害者の保護対象にならない。
3. 取締役会設置会社では、取締役会が業務執行の決定等を行う。
4. 強制執行は、口頭で請求しただけで必ず開始できる。

答え・解説

正答：取締役会設置会社では、取締役会が業務執行の決定等を行う。
超簡単な解説：重要な業務執行の決定などを行う。
要点：取締役会

Q039 BL3-427

企業組織・会社法 / 株式会社 / 形式：4択

次のうち、「株式会社」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 強制執行は、口頭で請求しただけで必ず開始できる。
2. 業務上の災害でも、労災保険は一切関係しない。
3. 株式会社は、株式を発行して資金を集める会社形態である。
4. 錯誤があっても、契約は常に絶対に取り消せない。

答え・解説

正答：株式会社は、株式を発行して資金を集める会社形態である。
超簡単な解説：株主・取締役などの機関が問題となる。
要点：株式会社

Q040 BL3-428

企業組織・会社法 / 監査役 / 形式：4択

次のうち、「監査役」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 監査役は、取締役の職務執行を監査する機関である。
2. 個人情報 は、本人に無断で常に自由に第三者へ売却できる。
3. 株主総会は、株式会社では存在してはならない機関である。
4. 契約不適合があっても、買主は常に一切の救済を受けられない。

答え・解説

正答：監査役は、取締役の職務執行を監査する機関である。
超簡単な解説：会計監査・業務監査の範囲は会社形態で異なる。
要点：監査役

ビジネス実務法務検定試験3級 - 企業組織・会社法

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q041 BL3-441

企業組織・会社法 / 株主有限責任 / 形式：4択

次のうち、「株主有限責任」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 株主は、原則として出資額を限度に責任を負う。
2. 使用者は、労働条件を一切明示しなくてもよい。
3. 契約不適合があっても、買主は常に一切の救済を受けられない。
4. 法人は実体がないため、契約の当事者になることはできない。

答え・解説

正答：株主は、原則として出資額を限度に責任を負う。

超簡単な解説：株式会社の基本原則である。

要点：株主有限責任

Q042 BL3-442

企業組織・会社法 / 商号 / 形式：4択

次のうち、「商号」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 実用新案権は、文学作品を保護する権利である。
2. 下請法は、消費者の家族関係だけを定める法律である。
3. 商号は、商人が営業上自己を表示する名称である。
4. 契約書は、常に法律より優先して適用される。

答え・解説

正答：商号は、商人が営業上自己を表示する名称である。

超簡単な解説：会社名などの表示に係る。

要点：商号

Q043 BL3-455

企業組織・会社法 / 定款 / 形式：4択

次のうち、「定款」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 商号は、個人名以外には法律上認められない。
2. 定款は、会社の基本規則を定めるものである。
3. 解除すると、契約違反の有無にかかわらず損害賠償請求は常に禁止される。
4. 詐欺による契約でも、被害者は常に取り消せない。

答え・解説

正答：定款は、会社の基本規則を定めるものである。

超簡単な解説：商号・目的・本店所在地などを定める。

要点：定款

Q044 BL3-469

企業組織・会社法 / 株主総会 / 形式：4択

次のうち、「株主総会」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 仮差押えは、債権回収とは一切関係しない。
2. 強行規定は、当事者が合意すれば自由に排除できる。
3. 株主総会は、株式会社の基本的事項を決定する機関である。
4. 営業秘密は、社内で開催されていれば秘密管理の有無にかかわらず保護される。

答え・解説

正答：株主総会は、株式会社の基本的事項を決定する機関である。

超簡単な解説：役員選任など重要事項を決議する。

要点：株主総会

Q045 BL3-483

企業組織・会社法 / 取締役 / 形式：4択

次のうち、「取締役」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 商号は、個人名以外には法律上認められない。
2. 代理では、本人名を一切示さなくても常に本人に効果が帰属する。
3. 取締役は、会社の業務執行や意思決定に関与する役員である。
4. 強制執行は、口頭で請求しただけで必ず開始できる。

答え・解説

正答：取締役は、会社の業務執行や意思決定に関与する役員である。

超簡単な解説：会社形態に応じて機関設計が異なる。

要点：取締役

Q046 BL3-497

企業組織・会社法 / 代表取締役 / 形式：4択

次のうち、「代表取締役」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 代表取締役は、会社を代表して対外的行為を行う。
2. 制限行為能力者がした契約は、常に最初から絶対に有効である。
3. 取締役会設置会社でも、取締役会は一切決定権を持たない。
4. 任意規定は、当事者の合意によって変更できない。

答え・解説

正答：代表取締役は、会社を代表して対外的行為を行う。

超簡単な解説：代表権の範囲や制限が問題となる。

要点：代表取締役